

基地問題等調査特別委員会会議録

招 集

令和元年6月21日（金）本会議終了後 議会委員会室

出席委員（8名）

（委員長）矢 倉 強 （副委員長）門 脇 一 男
安 達 卓 是 遠 藤 通 岡 田 啓 介 田 村 謙 介
前 原 茂 又 野 史 朗

出席した事務局職員

先灘局長 長谷川次長 田中主任 佐藤主任

協議案件

- ・参考人招致について

~~~~~

### 午前11時56分 開会

○矢倉委員長 ただいまより基地問題等調査特別委員会を開会いたします。本日皆さん方にお集まりいただきましたのは、実は26日に1件報告案件を私ども用意しております。それは、美保基地における空中給油機KC-46Aだったかいな、の配備計画について、皆さんお手元に配付しておりますとおおり、中四国防衛局、そして航空自衛隊美保基地の皆さん方が、参考人として皆さん方に説明をしたいというふうに申し入れがっております。まあ、そういうことで、まず委員の皆さん方から御意見を伺ってまいりたいと思います。発言を許します。

○矢倉委員長 はい。遠藤委員。

○遠藤委員 意見を言えということだけれども。意見言ったら何か変化が起きることがある。

（「あるかも分らん。」と声あり）

委員会として例えばまとめてこういうふうに言わいやてなことができいだわい。やる考えだわい。

（「認めとる。」と声あり）

そげ思うのは、皮肉言っとるわけじゃないだがん。本会議でも言ったけどな。委員長も聞いちゃったと思うけども。こういう事案はな、本来なら25人の全議員に前もって話をするとこの当方の姿勢がないのが問題だと思っとるんだがん。事後処理だがん。回覧板が回りました、見られましたか。確認しましょう、って話だがん。回覧板を回す前に、話をせないけんがん。なんでここに来とんなる、議長ここにおるけども、全くこの議会ってのはこういうことに来なるだがん。死に体思っとる、米子市の市議会議会は。こういうことではね、市民の皆さんに申し訳ないと思うよ、わしは。はっきり言って。受け入れるか、受け入れないか、の議論じゃなくて議会在こういうものを受けとめて、どういふ意見を交わし合って議論するのか。そのスタンスが整ってない。後づけだがん、これ。これじゃない。全協を開いて、一応、25人人間のいる状況をつくって、それで委員会はさらに集中

審議をする。これがルールだけ。議会の。それすらまともにできてない。ましてや、入れますよ、ふやしますよ、って防衛省言ってきてから、新聞見てもう皆んな逆らわず皆なしてしまあけど、米子はまあ、今からやあますがって、こんな話はないで。これいくら考えても。まあ、委員長、その辺はよく委員会の開催の調整を含めて、議長にも相談しちよいてごせ。

**○矢倉委員長** 遠藤さんがおっしゃったやなことは、以前も指摘されておりました、わたくしもゆゆしき議題だな、と思っております。まず、この26日の委員会にはですね、午前中10時からということで、時間が許す限り傍聴議員に対しても時間があれば、発言はできるだけ許していきたいな、というふうに思っております。そういうことで、遠藤さんちょっと風穴は空けておきますので。できたら遠藤さんのおっしゃってるような全員協議会をしてからということは当局に申し入れはしておきたいですね。

(「もっと最初に取り組まへんだが。」と遠藤委員)

**○矢倉委員長** 他にございませんか。

〔「なし」と声あり〕

**○矢倉委員長** ないようでございますので、それではお諮りいたします。防衛局の関係の皆さん方に御説明に来ていただくことについて、異義ございませんか。

〔「異義なし」と声あり〕

**○矢倉委員長** ないということで、そのように取り扱わせていただきます。以上で基地問題等調査特別委員会を閉会します。

**午後0時00分 閉会**

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

基地問題等調査特別委員長 矢 倉 強